



Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

Press - release

①9月25日

全世界の携帯電話加入者数は2008年中に40億を突破

Worldwide mobile cellular subscribers to reach 4 billion mark late 2008

ITUは携帯電話の普及率がBRIC経済の成長によって60%を超えると予測

ITU estimates over 60 per cent penetration driven mainly by BRIC economies

(出典：www.itu.int/newsroom/press_releases/2008/29.html)

ITUの事務総局長Hamadou Touréは、ニューヨークで開かれていた国連のミレニアム開発目標（MDGs）の高級幹部会合で、2008年末までに全世界の携帯電話加入者数が40億を超えると発表した。今世紀に入ってから、携帯電話加入者数は急速に増えており、2000年から2008年までの対前年

度比の平均伸び率は24%にもなっている（図1）。事務総局長は、「40億の加入者がいるということは、ITUの目標であるConnect the worldが達成可能であると同時にビジネス機会も拡大するということであり、2015年のMDGs達成に向けてICTが重要な役割を果たすということの証でもある」と述べている。

他方、普及は世界均等ではなく、開発途上国ではバングラデシュでのグラミンフォンに代表されるように1台の携帯を何人かで共用している場合もあれば、1人が何台もの携帯を所有している場合もある。携帯電話加入者数の急激な伸びは、一部の世界的市場の伸びに依存しており、BRIC（ブラジル、ロシア、インド、中国）各国の人口や経済の拡大が大きな要因となっている。BRICだけでも、加入者数は2008年末までに13億を超えると考えられる（図2）。

ITUでは、アフリカとアジアの二つの地域で携帯電話が人々の生活をどのように変えたかなどの最新レポートも発行している。

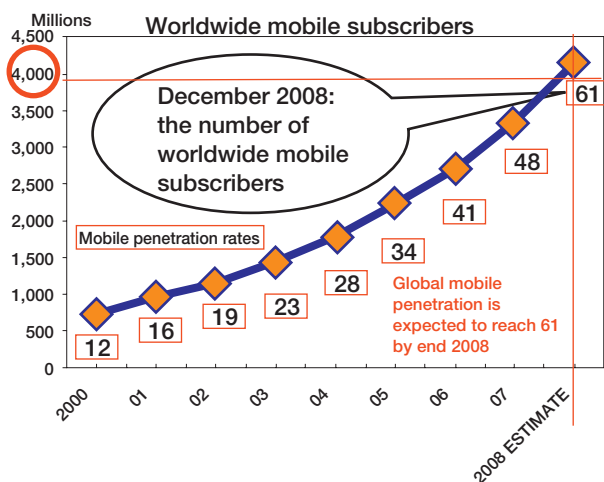


図1. 全世界の携帯電話加入者数の推移

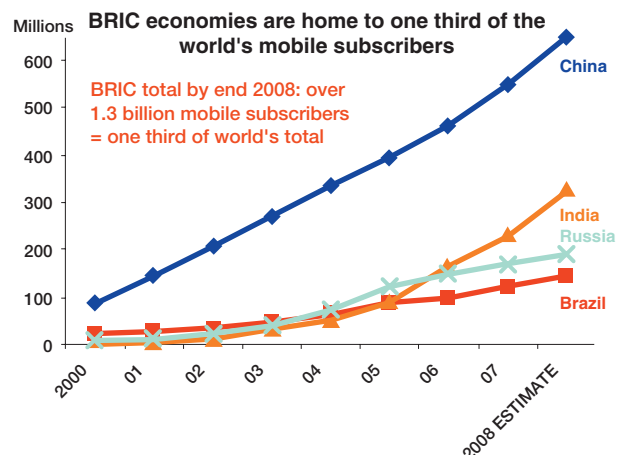


図2. BRIC各国の携帯電話加入者数の推移